



# 議会だより

No.22

発行責任者：南魚沼市議会議長 若井達男

編集：議会広報編集特別委員会

- 3月定例会の傍聴者 **69人** (延べ) でした



後山小学校入学式  
 今年は2名の新入生。特認校で  
 浦佐小学校から2名が転入

議事録等 詳細は…

南魚沼市議会

検索

<b>3月議会で決まったこと</b>	一般会計・特別会計予算 合計565億3,329万円など……	2 ㄱ
<b>議案審議</b>	一般会計予算 ここがポイント……	2～5 ㄱ
<b>市長施政方針</b>	22年度予算編成の考え方……	5 ㄱ
<b>一般質問</b>	21名が市政を質す……	6～15 ㄱ
<b>こちら常任委員会です</b>	調査内容をご覧ください……	16～17 ㄱ
<b>3月議会全議決結果</b>	今回から全議案の結果を載せました……	18～19 ㄱ
<b>戦国EXPOオープン</b>	請願・陳情のしくみ 請願・陳情は国民の権利です……	20 ㄱ

# 3月議会で決まったこと

## 平成22年度 一般会計予算概要

予算詳細は市報予算特集号をご覧ください。(千円以下切り捨て)

### ◎予算規模

	平成22年度	平成21年度	比較増減	割合
予算総額	299億4,500万円	291億1,700万円	8億2,800万円増	2.8%増

### ◎主要施策

#### 雇用対策・資金繰り対策

- ・ふるさと雇用再生事業、緊急雇用創出事業、地域人材育成事業など……………3億5,393万円  
(全体で144人の臨時雇用を創出します)
- ・信用保証料補給金……………3,000万円  
(信用保証料を制度資金については100%、その他については50%補助)

#### 教育環境の充実

- ・五十沢地区小学校統合整備事業(23.4.1開校予定)……………1億8,052万円
- ・塩沢地区給食センター整備事業(22.9開始予定)……………1億9,155万円
- ・大崎小プール移転新設事業……………9,861万円
- ・耐震補強事業(六日町中学校)……………1,642万円
- ・教育課程特例校事業……………2,405万円

#### 子育て支援の拡充

- ・子ども手当(児童手当含む)の支給……………11億8,910万円
- ・学童保育施設整備事業(平成21年度3月補正含む)……………1,600万円

- ・地域子育て創生事業……………2,934万円
- ・認可外保育施設補助……………740万円
- ・子宮頸がん予防ワクチン接種助成……………1,173万円
- ・浦佐認定こども園建設事業……………5億7,039万円

#### コミュニティ活動の推進

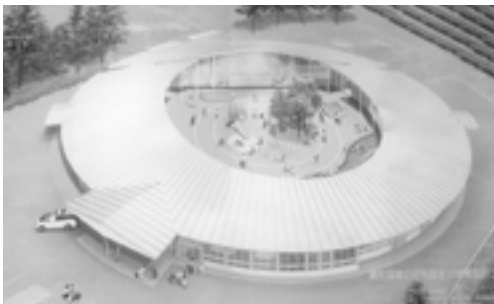
- ・地域活性化支援事業交付金……………2,920万円
- ・地域活動拠点支援交付金……………2,120万円

#### 愛プロジェクト推進事業

- ・「戦国EXPO」の開催(期間:4月11日~11月28日)……………2,000万円
- ・直江兼続公生誕450年パレード補助金……………200万円
- ・愛プロジェクト推進事業補助金……………3,500万円

#### 財政健全化の推進

- ・職員数の減(694人→682人へ12人の減)……………△1億1,547万円
- ・空き庁舎等の有効活用……………1,719万円
- ・経常経費を部単位に1%削減で「枠配分」……………△1,866万円



浦佐認定こども園  
保育園と幼稚園機能を合わせた新しい施設です。  
地元の木材を使用します。

政務調査費の交付に関する条例の一部を改正し、現行の1人月額5千円を1万円に改定。これは県内最低額の現行を見直し、調査活動の充実を図るために増額しました。

県内の主な市の状況は、新潟市15万円、長岡市6万円、十日町市1万2,500円、小千谷市8千円、魚沼市5千円などです。

### 政務調査費月額1万円に増額

## 特別会計予算

(単位:万円、千円以下切り捨て)

会計名	平成22年度	平成21年度	比較増減	
国民健康保険特別会計	611,690	608,160	3,530	
介護保険特別会計	510,960	491,980	18,980	
老人保健特別会計	85	520	△434	
後期高齢者医療特別会計	47,050	49,420	△2,370	
下水道特別会計	613,600	759,600	△146,000	
水道事業会計	収益	218,486	249,554	△31,068
	資本	215,937	358,116	△142,179
	計	434,423	607,671	△173,248
病院事業会計	収益	419,637	404,546	15,091
	資本	21,383	21,220	163
	計	441,020	425,766	15,250
合計	2,658,829	2,943,117	△284,288	

※水道事業会計及び病院事業会計は歳出金額

# 質疑応答

(抜粋)

## 歳入

〔質疑〕

税収は昨年度より4億円減、20年度より11億円減の予算編成だ。税収が減つてもそのぶん地方交付税で補てんされるが、財政規律の緩慢さが出ないか。

〔答弁〕

国税の一部を自治体間格差を是正するように配分し、財源を保障する制度である。財政規律を守りながらその制度に準じていくものと考えている。

〔質疑〕

固定資産税滞納額は12億5千万円と非常に多い、大口滞納者の状況と徴収方法は。

〔答弁〕

固定資産税滞納は1、646人。内、500万

る予定だが、資力がありながら給食費を滞納している保護者への対応は。

〔答弁〕

滞納処理は2人1組で行っているが、場合によっては課長が向かい合っている。生活が苦しい方の滞納が主である。

〔質疑〕

土地売却収入はどの土地で考えているか。不動産は戦略的、計画的にやらないと処分は進まないのではないか。

〔答弁〕

消防庁舎の関連で国県に用地売却、福祉施設の増設に係わる土地売却、東泉田市有住宅はバイパス関連の道路用地となっており売却予定。簿価が割れても積極的に売却していきたい。

〔質疑〕

子ども手当が支給され



給食センター

## 歳出

### 総務費

〔質疑〕

コミュニティ事業の交付金は、非常に使い勝手が悪い。

〔答弁〕

地域事情に応じて使っていたらいい構わない。

〔質疑〕

職員の定期昇給の率はどれくらいか。人件費は

〔答弁〕

滞納処理は2人1組で行っているが、場合によっては課長が向かい合っている。生活が苦しい方の滞納が主である。

〔質疑〕

平均昇給率は1.07%、若手職員は2%程度である。一般的な市に比べ当市の人件費が高いのは公立保育園が多いことが一つあり、見極めながら保育園の公設民営化を計画している。財政事情が厳しいことを自覚しながら財政運営を行う。

〔質疑〕

防犯対策事業費212万円は、当市の広さからすると非常に予算が少ない。防犯灯の設置状況と

基準は。

〔答弁〕

市で設置する防犯灯については「50m間隔で人家がない」という設置要綱がある。したがって街中では設置基準にほとんど合わない。設置に関しては増加傾向にある。

〔質疑〕

県との準広域的な徴税システムの成果はどうか。

〔答弁〕

一昨年の9月から始まったが、22年1月末までに機構に95件、滞納税額9,500万円を引き受けて頂いた。その内、6件460万円収納済み、7件630万円差押え、13件1,730万円納税誓約を頂いた。

### 民生費

〔質疑〕

シルバー人材センターは3億円の実績がある。今後規模拡大も考えているというが、他の民間企業への影響はないのか。

〔答弁〕

補助金を出しているし、高齢者の能力活用や生きがいを縮小するわけではないが民間企業との住み分けをどうするか考えなければならぬ。



〔質疑〕

市単独の子ども医療費助成を9月からでなく、他自治体のように4月からあげ、充実を図れないか。

〔答弁〕

9月からの支給だが、子ども医療費の2〜3歳の入院費・通院費を無料にしているのは、統計的に一番費用がかかる部分を救うため、決して福祉をおろそかにしているわけではない。

## 衛生費

**質疑**

斎場の指定管理者委託料2、043万円の算出基準は、思川区の方々への雇用の配慮は。

**答弁**

新斎場施設は現在の約4倍の床面積で、また小動物火葬業務も加わり5名の人員配置が必要で、そこから積算した。受託者は地元で配慮できる団体を指定したい。最大限の支援をやっていききたい。



斎場

**質疑**

自殺者は全国で3万人を超えている。当市での具体的な対策は。

**答弁**

22年度は相談窓口の充

実とラジオ放送による啓発を行う。電話や面接では相談しにくいいため、メールでの相談窓口を開きたい。

**質疑**

**答弁**

子宮頸がん予防ワクチンは10代前半だけでなく、今後20〜30代への助成は検討できないか。

**答弁**

11〜14歳のうちのワクチンが一番効果的なのだろう。20〜30代は想定していない。

**質疑**

住民健診事業で女性特有がんのクーポン券が発行されたが受診率は。広報による周知が遅くなかったか。

**答弁**

健診機関からデータが届いていないため受診率はわからないが、クーポン券によって受診者数が上がったことは間違いない。周知は個人発送でももちろん、広報紙で何度か受診を促した。

## 労働費

**質疑**

こしひかり紙・和紙販売路開拓事業委託料の内容は。

**答弁**

名刺で使用、製品販売しているが、販路ができていない。人件費2名分で、しやくなげ湖畔開発公社へ委託する。

## 農林水産費

**質疑**

農業委員協力員とは。協力員は何人か。

**答弁**

農業委員は41名いるが一人当たりの面積が大きいため、各旧村で1人ずつ計12名を協力員として委嘱し、補助員として活動していただいている。

## 商工費

**質疑**

牧之通りに直売所設置について詳細を。

**答弁**

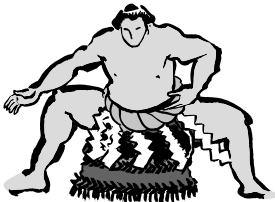
110坪の建物で物販販売を5ブース、立ち食いスペース、小上がり、テーブル10台想定。中にも外にもトイレを設置する。

**質疑**

合併5周年記念事業として行う日本相撲協会夏巡業に1、000万円の補助金が出ているが、運営費か。

**答弁**

実行委員会予算があり、この中に入場料や1、000万円も含めて総事業費が決まる。その中から相撲協会への負担金を930万円払うが、この1、000万円を充当するものではない。実行委員会チケットを販売し、余



剰金を市へ返納いただくか、活きる事業があれば市へ協議してもらいたいと話している。

## 土木費

**質疑**

道路橋りょう維持管理に関して、県直轄事業負担金を廃止したが、市単独事業や地元施工負担の見直しはどうか考えているか。

**答弁**

22年度中に見直しをしたい。地元施工の3割補助は見直し検討中。基本的に下げる方向であるが、「0」は考えていない。

**質疑**

市営住宅に関する今後の基本的な考え方は。

**答弁**

住宅は新設するのではなく延命化を考えている。

## 消防費

**質疑**

消防団の高齢化が進ん

でいる。団員不足で困っている地域はあるが、事情を把握しているか。

**答弁**

現在2、430名の定員のところ4月から2、408名でスタートするが、今後2千人を割るようなら部の統合など再編も考えなければならぬ。現状の団の定員では自主防災組織と連携を密にせざるを得ない。



消防演習

## 教育費

**質疑**

教育支援センターは3カ所から1カ所になったが、塩沢・大和からの参加者の動向及び内容は。

**答弁**

21年度は塩沢4名、六

日町5名、大和2名の計11名が通っている。統合によって遠くなり通学には不便かと思うが、通学不可はない。指導員は多くなり全体的なサービシスに関して良くなっている。

**質疑**

ディスポートは毎週月曜休館となっているが、業態も様々で月曜休館だと利用できない方が多いと思われる。隔週でもいいので月曜利用はできないか。

看護師になるために奨学金制度の利用実績は。もつとPRすべき。

**答弁**

現在3名利用している。看護師は仕事厳しく責任が重いため希望者が少ないが、看護師という職業の崇高さを伝え、併せて奨学金制度の紹介もしていきたい。

**質疑**

遺跡調査発掘事業費の内容は。今回急いで予算にあげなければならぬ理由は。

**答弁**

大原運動公園整備に係る試掘が多額となっている。当初構想では筑波大の用地も含めて考え



ディスポート六日町

# 市長施政方針

(抜粋)



南魚沼市におきましては、製造業を中心に雇用・景気情勢は厳しい状況が続いています。また、実質公債費比率も改善はしてきていますが、22・9%

と依然として「県下ワースト1」にあり、また大幅な税収減が見込まれる等、財政状況も厳しい状況が続いています。

**答弁**

現在の休暇が月曜と決まっています。毎日開館できれば一番いいが、人件費が非常に負担になる。今すぐには難しいがよく検討したい。

こうした中で、財政の健全化に留意しながら市民の負託に応えるため、平成22年度一般会計予算は、(1)雇用・景気・金融対策、(2)子育て環境の充実、(3)教育環境の充実、(4)コミュニティ活動の推進、(5)財政の健全化を重点施策として編成しました。

**○雇用対策**

ふるさと雇用再生特別

基金事業及び被災地域緊急雇用創出事業等により雇用の拡大。また、アフター大地人対策の愛プロジェクト事業等新たな事業創出。景気対策として48億円程（昨年比9億円増）の投資事業を実施。更に金融対策として信用保証料補給金事業実施します。

**○子育て環境**

新政権の施策による子ども手当、認可外保育施設たんぼぼハウスへの助成、浦佐認定こども園建設事業及び地域子育て創生事業に新たに取り組みます。また、希望する10代前半の女子を対象に子宮頸がんワクチンの予防接種について助成することといたしました。

**○教育環境の充実**

継続事業で取り組んできた五十沢地区小学校統合整備事業、塩沢地区給食センター整備事業を完成し、給食センターにつ

いては2学期から供用を開始する予定です。  
**○コミュニティ活動の推進**

可能な地区から分館事業を移行する等地域の自主性を尊重した自治活動の活性化を推進してまいります。

また、辻又地区に地域出身者等との交流事業により地域活性化を図るため、交流施設改修費を予算計上しました。

**○財政健全化の推進**

引き続き職員の削減を進めるとともに、一般行政経費や経常的経費については、内部経費の削減に努めます。

本庁方式をさらに進め行政の効率化を図るため、JA魚沼みなみ六日町支店ビル（2、3階）及び六日町保健センターを庁舎化し、大和庁舎にある福祉保健部を10月から本庁舎に移動する予算を計上しました。

歳入の確保につきましては、市税等の収納確保

に努めるとともに遊休資産の売却等を図ります。

以上により平成22年度一般会計予算を総額29億4、500万円、前年度比2・8%の増で編成いたしました。更に一体として編成した、政府の平成21年度第2次補正予算の地方支援策による「地域活性化・きめ細かな交付金」事業費2億6、410万円を含んだ「一般会計補正予算（第5号）」と合わせた総額は302億円余りとなり、財政調整基金を繰入れることなく、雇用・景気に最大限配慮し、安全安心なまちづくりを目指した積極的な予算編成ができたものと考えております。

**《前号の訂正》**

2010年2月1日号の市長所信表明（6ページ）で、プレミアム商品券の換金率が「72%」と掲載しましたが、「99.72%」の誤りです。訂正しお詫び申し上げます。

# パブリックコメントを 本来の意見公募に戻せ

**答** 市民に  
なじみのあるものにする



**寺口友彦 議員**

市のパブリックコメント（意見公募）は「市のやることに無駄はない、ご理解賜りたい」式の考えである。事業案作成中

に市民の意見を聞くのが本来の姿だ。パソコンだけでなくはがきやFAXでも受付けて、一つひとつに回答すべきだ。

**市長**

平成17年からの意見公募は件数が少なすぎたので、件数が増えるよう努力する。大原運動公園整備についても実施する。反対意見の集約の道具にはしてはならない。政策を作る段階で意見公募を

# 児童が市外へ進学し、 中学のクラス 数が減った

**寺口**

学力・生活指導・教師の多忙により市内中学の評判が良くない。市外への進学者が増え中学のクラスが減った理由は何か。小中の連携を強めて市立中学の魅力を出せ。

**教育長**

家庭学習の時間を増やして学力の向上を図る。不登校問題はその後まで追跡調査をして、きめ細かく対応する。市教育委員会の調査回収は負担をかけていない。土日の部活は県教育委員会の方針で減ったが、熱血教師の自己努力におんぶした形を改善する。小中学校の連携を緊密にしていく。



六日町中学校

# 戸別所得補償モデル 事業の対応は

**答** 1株でも多くの作付けを



**黒滝松男 議員**

自給率向上と水田農業の経営安定化を図る「戸別所得補償制度」が平成22年度より導入される。また、国・県より当市

への生産数量目標は昨年より約526トン減の2万2、427トンと厳しい状況である。

生産数量目標の範囲で作付けし、10アールあたり1万5千円の補償を受け取る「米戸別所得補償モデル事業」に加入し、希望農家には県間調整により昨年並みの作付けを考えると市の取組みは。

**市長**

佐賀県との県間調整の

# 学区再編の今後の 進め方について

**黒滝**

平成20年の学区再編最終答申によれば、およそ10年先をメドに提言の実現に向けて取組むとあり、中でも急がれる順位は城内・大巻・五十沢の3中学校の統廃合とされている。

メドがついたので、希望農家へ配分して生産・販売に取組む。

**教育長**

実施に当たっては、保護者、地域への丁寧な説明を行い、統廃合の趣旨を十分に理解してもらうとともに、地域の合意のもとに進める必要があるとしているが、今後の進め方について。

現に向けて取組むとあり、中でも急がれる順位は城内・大巻・五十沢の3中学校の統廃合とされている。

城内・大巻・五十沢各地区に考える会の設置をお願いし、各集落単位に直接出向いて多くの住民より意見を聞きながら進めたい。



農業体験風景



答

国の財政健全化を望む  
市民の安心、安全に心がける

阿部 俊夫 議員

政権交代の激変の中、過去最大の予算が成立する。経済不況を反映し、極端な税収減で、財源は将来に負担を残す国債に

依存する。  
市も五十沢小、給食センター、斎場、消防庁舎等投資的事業が山積し、特例債への依存は大きい。財政健全化計画策定時もバブル後の財政悪化、地方切り捨ての偏った三位一体改革で大変な状況だったが、具体的財源確保の展望のない現状は、より厳しい認識が必要ではないか。昭和の合併で特例債を反故にした例もある。

地方の厳しい現状を要望する手段、政権への人脈づくり等の対応は。  
**市長** 国と地方の債務残高は最悪と憂慮している。交付税に頼る中、国が税制改革の議論に入ることは歓迎したい。三位一体改革の二の舞にならないよう、国の財政健全化を望む。  
費用対効果だけで地方の事業が切り捨てられる



答

小規模農家も  
認定農業者も同じ担い手だ

牛木 芳雄 議員

民主党を中心とした政権の誕生で、農政の方向が大きく変わる。40年以上続いた減反政策が見直され、「作らせない農政」

## 今後の農政について問う

から「作る農政」へと大転換した。  
①今までの各種政策が担い手中心であったが、今後市の認定農業者の位置づけは。  
②自給率向上事業で新規需要米の対応だが、実需者との契約が義務付けられている。農協、行政が係わる中で一括契約のシステムができないか。

**市長** ①各種施設や農業機械整備、導入についての要件として、認定農業者や集落営農組織であることが規定されており、今後とも担い手に期待し、育成していく。  
②10アール当たり8万円という高額な補償金が出るので取り組んでみたい。しかし、急に需要者は見つからない。市も一緒になって需要者の発掘に模索していく。

(※)実需者とは、コメを米粉、バイオ燃料等、新たな需要を引き出すために、米飯以外の用途に利用する目的で買い取る業者。



農作業風景

# 生活応援として何が できるか

**答** 市の裁量は多くない



岩野 松 議員

①国の定めた税の減免等もあるが、リーマンショック以来の不況の中、週3、4日しか働けない人や障がい者への仕

事はなくなる。そうした人への応援手立てはないか。民宿や旅館業などの固定資産税減免は考えられないか。

②小規模登録制度は零細業者には喜ばれているが、上限50万円ではなく、随意契約限度の130万円まで引き上げられないか。

①減免できるのはしたいが、市の裁量は多くない

**市長**

①固定資産税減免は税制上でできない。

②小規模登録制度は21年度33人登録で、44件の発注。引き上げについては既存の業者を圧迫するのではないかと影響が出ないなら考えた

## 10年後の財政計画 は大丈夫か

**岩野**

交付税一本化算定後の

財政は心配ないか。職員数で、臨時保育士が多い。臨時有資格保育士の採用は考えられないか。

**市長**

税収の好転は望めないが、交付税は国を信じて算定し、一本化後は11億円位減か。保育士はニーズが多様化しているので臨時が多い。正職員採用はルールに基づき行う。市民センター職員は現状維持を考えている。

# 安心して老後を 暮らせる介護制度へ

**答** 待機者解消に努めたい



中沢 一博 議員

日本は今、人類が経験したことのない超少子高齢社会へと突き進んでいる。当市は今、422名の方が特養の待機をして

おり、特に介護度4、5の方が61名待っている。老後の安心を支える介護基盤の整備をどう実現するか、重要課題である。

①介護施設の将来像と在宅支援強化の24時間365日サポートする体制の拡充を強く求める。

②高齢者がやりがいを持つて介護予防に励まれるよう、介護保険を利用しなかつた元気高齢者には介護予防を評価する観点から、介護ボ

ランティア・ポイント制度を導入してはどうか。

**市長**

①施設整備は前倒しで70床認められた。22年度は3カ所で54床、23年度以降232床を計画している。24時間365日体制はやれば体制を組みたいが、課題もある。

②公的な部分でできるのか、今後検討したい。

## 障がい者就労支援 強化について

**中沢**

特別支援学校後の一般企業への就労支援を積極的に求める。

また、戦国EXPOに授産施設の販売コーナーを設置してはどうか。

**市長**

緊急雇用対策の中で障がい者の方も雇用していきたい。戦国EXPOもコーナーを設ける。



養護老人ホーム 魚沼荘





## 『指定管理者』利用に 走りすぎているはないか

**答** 施設ごとに慎重に検討  
決して、移行ありきではない

林 茂男 議員

公の施設の管理運営を  
民間法人や団体に委託で  
きる指定管理者制度だが  
安易に移行に走りすぎて  
はないか。

指定団体の既得権益化  
や癒着、天下り先等の温  
床の場とさせぬよう、ま  
た公から民への『丸投げ』  
とならぬよう慎重に取り  
組まなくてはならない。

**市長**

はないか。公共性を歪め  
ぬよう選定に十分な配慮  
を求めたい。

う。結果だけでなく経過  
の内容も極力公開するよ  
う検討する。必要であれ  
ばモニタリング制度も設  
けたいがしばらく検証期  
間がほしい。

委託先選考の過程に公平  
性や公開性を確保するこ  
と、委託後の評価、モニ  
タリングの徹底も肝要だ。  
今秋開場する新斎場の  
指定管理者への移行はす  
でに決定しているが、市  
民から相応しいかとの声  
も聞く。公の最たる場で

市直営か指定管理かの  
判断基準は、どちらが市  
民サービスの向上や維持  
管理経費の節減がはから  
れるか、施設の設置目的  
を効果的に達成できるか  
という観点である。指定  
ありきではない。  
選定の公平性、公開性  
も十分保たれていると思

斎場については人生の  
最終の場。尊厳を傷つけ  
ないよう、それに相応し  
い専門的な接遇マナー、  
葬祭の知識、機械操作の  
技術等を備えるべきで、  
市直営より専門業者に受  
けてもらおうと判断した。  
選定には慎重を期す。



建設が進む新斎場（思川）

## スポーツ振興計画策 定で総合体育館を

**答** 計画策定し  
その中で検討する

山田 勝 議員

スポーツは、健康づく  
りや健康の維持、リフレ  
ッシュによる人間性の回  
復に非常に大切なもので  
ある。青少年には、心身

の発達を促し健全な人間  
づくり、仲間づくりや地  
域とのふれあいの場とな  
る。上位大会への出場は  
地域の盛り上がりを呼ぶ  
大人・お年寄りには、生  
活習慣病予防による生活  
の質の向上や医療費軽減  
になる。観るスポーツで  
は、夢と感動を与え、す  
ばらしいイベントは、交  
流人口の増大が期待でき  
る。以下について問う。

①スポーツ振興計画の策  
定の考えは。

**市長**

①「第一次総合計画」の  
見直しで策定方針を入  
れる。「スポーツ都市  
宣言」とあわせて。

②観覧席付き総合体育館  
新設は、新市建設計画  
にはなかった。必要と

思うが、建設費が高額  
であり財政面に影響が  
あるので、今後声を聞  
きながら「スポーツ振  
興計画」に入れられる  
か検討したい。



長岡市民体育館

## 市民センター 公民館はどうなる

**答** 機能強化・効率化を目指す



腰越 晃 議員

高齢者世帯の増加等、身近な窓口サービスの重要性は高まっていく。塩沢・大和市民センターのワンストップ・サービス

の改善、大和・塩沢の公民館活動への支援について伺う。

**市長**

大和・塩沢地域の市民センターでは、総合窓口としてワンストップ・サービスに努めてきたが、

維持で機能の向上・改善を進めていく。

公民館活動については、公民館分館活動も含めた地域コミュニティ協議会での取り組みも検証していきたい。

**教育長**

大和・塩沢公民館の人員を業務の効率化のため、中央公民館に集約するが、各公民館の大きな行事では人員を多く投入し、円滑な行事運営に努める。

身近なところで取り組みということが重要であり、現在の分館単位、旧町単位で行っている事業活動は、これまで以上に支援をする考えだ。

窓口業務である市民からの相談や公民館の会議室・図書室等施設の利用は、これまでと同様に市民が使いやすいようになるよう努める。



塩 沢 公 民 館

## 市民運動を 市政にどう生かすか

**答** 敵視するつもりはない



笠原喜一郎 議員

政治の基本は「信頼」であり、「まちづくりの主役は市民である」という中からしか築くことはできない。しかし、市長

答弁を聞いてみるとその姿勢に疑問をもたざるを得ない。野球場建設になると冷静さを失う傾向があるが、それを差し引いてもいかがかと思う。

市民が行政に対して意思表示する手段としての署名活動を「おろかなこと」、署名数がどんなに

集まろうが「一切耳を貸すつもりはない」とはいかがか。行政に都合のいい声ばかりではないが、為政者は「聞く耳」をも

**市長**

たなければならぬ。市民運動に対する考えと、市政へどう生かしていくかを問う。

まちづくりの主役は市民であることが原点である。しかし、議会制民主主義が一番いい制度である。市民運動・住民自治というが、自らの主張だけを言うものではない。

野球場建設は8千人の署名があつたからやるも

のではないから、反対署名をして上回つたらどうだということでの反対署名はおろかなことである。つくってもらいたいという声もあり、計画もしていることですから、8千人を超す反対署名があつたとしても、聞く耳を持つ気はありません。まさに不毛である。

ただただ反対するというのは市民運動ではないが、敵視するつもりはない。



## 不況対策 効果は

**答** 一定の効果はあったと考える



牧野 晶 議員

① 不況・経済対策として平成21年度・22年度にいくつかの事業をおこなったが、効果はあったのか。

② 市内の景気をなにて判断しているのか。指標が必要ではないか。

③ 市内の景気は、この1年で良くなったか。

④ 市民が不況で困っている現状でも、市内景気対策や負担軽減策の財源確保のための給与カットはしないのか。

金が回ったことは事実だ。

② 有効求人倍率や求職者数、事業所などへの聞き取り調査で市内景気を判断するしかない。指標を作ることには難しい。

③ 市内景気は良くなっていない。

④ 不況対策の財源確保のための給与カットはしない。

### 市長

① 即効的な効果は判らないが、事業をおこなったことにより市内にお

入る直売所・直食所に出

せる農産物、加工品が現状の市内の産物では少な

すぎる。農工商連携した中で通年潤沢に供給して

いかなければならないが方策はいかに。米価の下

落で農家所得も落ちてい

る今、ぜひとも直売所を成功させ、収入増につな

げたい。

また、六日町、大和地域にも直売所をと昨年の議会であったが、その計画場所等はどうか考えてい

るか。

### 市長

川口町と埼玉の花園直売所のようなイメージを持って

いる。農協、商工会、観光協会、特産品開

発者と協議を重ねている。生産者組織を構築して、

計画生産し端境期をなくしたい。環境保全型農業

トレーサビリティ(生産工程の記帳)等前面に出

したものの作りをしてもらいたい。また、深谷市と

## 観光交流拠点施設の直売所・直食所について

**答** 地元の産品を端境期なくするようにつ

はごかいき

小澤 実 議員

平成25年供用開始予定

の「観光交流拠点施設」が今泉博物館に22年度予算で調査設計委託料が計上されているが、そこに

は友好都市なので産品の交流も考えている。

六日町、大和地域につ

いては、専門家の話からしてもエリア的に、旧町

1カ所が消費者心理をくすぐる。「八人八色」

を拡大したり、六日町地区は利便性の良い所に構

想を持つ。



八色の森公園に隣接する直売所



ハローワーク南魚沼

## 市内商工、観光業の 今後の取り組みについて

答 前向きに考える



鈴木 一 議員

平成21年度も終わろうとしていますが、景気回復も見込めず、特に建設、観光業は最悪の年になりそう。若い人達が職人

になろうとしない、自分の家業を子どもに継がせようとする親達、全て魅力のない職業となってしまう。

①そこで、振興策の一環として、市内の住宅を

新築する人へ市内業者  
に依頼した場合、補助  
金を出してはどうか。

②グリーンシーズンの観  
光への取り組みとして、  
小中学校の子ども農山  
漁村プロジェクトの取  
り組みについて、市の

考えを問う。

③着物産業振興のため、「着物の日」を定め、まず議員、市職員が着物を購入してはどうか。

市長

①個人の財産に補助を出  
すことはできない。

②グリーンシーズンの誘  
客には力を入れたい。  
体験から教育旅行への  
転換も考えていきたい。  
③米沢市でもやっていた  
が、宣伝効果はあった。

しかし、経済効果はな  
かった。着物産業への  
テコ入れはやっていき  
たい。ただ、職員への  
購入を強要することは  
できない。



塩沢つむぎ記念館内

## 六日町バイパス含む 国への陳情について

答 地元代議士に会えず  
残念な状況



今井 久美 議員

「六日町バイパス凍結  
候補」の報道もある中、  
国への陳情も、地元代議  
士を通じ民主党県連、党  
本部幹事長室と変わった。

県内この5区だけ通らな  
いとのこと。市長は6万  
2千市民のため、政治的  
に柔軟であるべき。現状  
と合わせ見解を伺う。

市長

地元代議士に会えず、  
陳情が党本部に上がらな  
い状況。止むを得ず、民  
主党県連から党本部に上  
げている。その先は全く  
見えない。中央(霞ヶ関)  
は一切話さない。六日町  
バイパス含め、非常に残

念な状況。

### 臨時財政対策債に 頼らない自治体に

今井

①国の交付税財源がなく、  
市が国に代わって発行  
する臨時財政対策債に  
ついて、その性質上で  
きるだけ抑制し、頼ら  
ない自治体となつてゆ  
くべきでないか。見解  
を伺う。

②交付税とみるなら、発

行を抑えれば、後年度  
その分が入るメリット  
となるのではないかと

市長

①これは市が発行した分、  
後年度国が交付税措置  
するもので、22年度、  
13億円を予定。主とし  
て、人件費を含む、経  
常経費に充当する。  
②国の地方財政計画のバ  
ランスもあるので、一  
自治体とすれば使った  
方が得策。



六日町バイパス

独自の財政指標の下で  
健全な財政運営を

もと

健全化判断比率等で  
健全運営を心がける



佐藤 剛 議員

財政健全化計画の経費削減目標の達成は見込めるが、夕張の財政破綻から、国の財政政策の影響を受けやすい自主財源

が乏しい自治体の財政構造改善の必要性を学んだ。そこで人口問題、産業振興をどう対策し税収増に結びつけるか、と国に依存しすぎない簡素で効率的な財政運営が必要だ。その実現のため、財政の現状や将来負担等が市民も理解できる独自の財政指標で、健全な財政運営を進め、自治体の体力をつけることが必要だ。

市長

国の健全化判断比率、

高齢者、障がい者の  
日常生活支援を

佐藤

決算統計の財政指標により、健全な財政運営に心がける。今後の推移で、必要があれば改めて財政健全化計画を立て進めたい。

市長

住宅除雪援助は、内容や時間制限、回数を降雪状況で拡大できるよう改正した。障がい者へのタクシー券と自動車燃料費の選択は他市を参考に検討する。



今年の雪も高齢者には厳しかった

郷土愛と  
地場産業の育成を

ブランド性を守り  
可能な範囲で実現に努める



桑原 圭美 議員

①普通、商品には登録商標や著作権があり、類似品やコピー商品に対し、厳格に商品価値を守る。これと同様に、

地場産コシヒカリのブランド性を保護する方が必要ではないか。②教室に炊飯器を設置し、そこで給食のご飯を炊くことにより、食育の面から郷土愛を育む教育を提案したい。そして、水田が生み出す酸素と世界的に削減が求められるCO<sub>2</sub>とを交換する事業に発展させ、環境問題への取り組みに繋げていきたいと思うが、検討できるか。

市長

①地場産業の保護・育成は必要と考える。②可能な範囲で検討するが、現状は難しい。

女性の労働環境と  
病児保育の実現へ

桑原

政府は出生率の低下は国家の危機だ、という表現をするが、女性の労働環境を鑑みると、とても子どもが増える状況では

市長

職場環境の改善は必要と考える。サービス開始に向け検討を始める。



教室での炊飯風景（栃木市）

# 暮らししやすい 南魚沼市に

答 実態を調査して



塩谷 寿雄 議員

①結婚支援事業について  
市で行っている結婚事  
業は年1回で予算は90  
万円位だが、もつと出  
会いの場を増やし予算

も増やしてはどうか。  
②行政サービスについて  
行政に対してわからない  
ことを教えてくれる  
「答えてコール」とい  
うサービスを新潟市で  
は行っている。わが市  
でも取り入れては。

②実態を調査して、南魚  
沼市で対応できるか検  
討する。

## 子どもを将来の市 の宣伝マンに

塩谷

市内でボランティアガ  
イドと呼ばれる方々、  
観光に携わる優秀な方々  
がいる。子ども達に故郷  
のことを教え、子どもガ  
イドを育成することによ  
って地元愛や地元を離れ

た時に南魚沼のことを話  
せる宣伝マンになって頂  
けると思う。他市では取  
り組んでいるところもあ  
るが、わが市でも授業に  
取り組んでいくべきでは  
ないか。

教育長

地元を離れた時、故郷  
の良さを自分の言葉で説  
明する力は、我われ教育  
委員会が一番付けたい力  
なので、どうやったらで  
きるか研究したいと思う。

# 中学生海外派遣事業 参加枠の拡大を

答 参加人数の増は研究する



関 常幸 議員

次代の南魚沼市を担う  
若者に、広い世界観や人  
間尊重の精神、日本や故  
郷への愛着心を醸成する  
とともに、幅広い知識と

高い識見を身につけさせ  
ることを目的とした「中  
学生海外派遣事業」が、  
市長の肝いりでスタート  
した。

今年度も20名の中学生  
が、この3月16日～23日  
までアメリカオレゴン州  
でホームステイを中心に  
異文化に触れてくる。こ  
のたった8日間の体験で  
しかないが、これからの  
将来の人生に、生き方に  
大きな夢や新たな目標  
を与える。

この財源を寄付した、

今は亡き天国にいる広田  
さんに報告する意味から  
も、一回目に参加した20  
名の感想はいかがであつ  
たか。そして、海外派遣  
事業に、一人でも多く参  
加させることが、故人の  
遺志に沿うことになる。  
個人負担（経費総額の3  
割程度）9万円であるが、  
個人負担を15万円位に増  
やせば、今の20名から30  
名参加することができる  
が、いかがか。

市長

報告会では全員が自信  
を持って報告した。共通  
して言えることは、世界  
の広さを実感した。英語  
が上手に話せなくても通  
じたこと。イエス・ノー  
を明確に。またアメリカ  
に行きたい等々。

個人負担を増額するこ  
とにより経済負担が増え  
て、参加できなかつたと  
いうことの無いようにし  
なくてはならないので、  
教育委員会と研究する。



中学生海外派遣の様子



ミーティングパーティー風景

## 若者定住の支援策は

**答** 就職支援は早急に子育て支援はトータルで

井上智明 議員

地域社会を継続する為には若い人たちの定住が必須条件である。そこで次について伺う。

①就職支援について

生まれてから大学を卒業するまでにかかる費用は、2,000万円とも言われている。この費用は地域の資産である。仮に200人が地域から出たままであるとする、毎年40億円の資産が地域から出ていくことになる。大卒者の就職が難しいのがチャンスととらえ、大卒者の地元就職への支援を考えてはどうか。

②生活環境支援は

**市長**

①大卒者の就職については同じ認識である。南魚沼市から毎年500人が大学に進学する。その資産価値は十分認識している。地元企業

の認知を広めること、新規起業への支援等、早急に対応したい。

②子育て支援については当市だけという支援策を、保育や医療費で約2億円ほど実施している。これからもトータルの支援を考えている。



## 基幹病院に大和医療センターの機能を

**答** 地域医療守り整備

岡村雅夫 議員

基幹病院は設計業者も決まり、九月下旬には基本設計が完了する。大和医療センターの位置付けをしっかりと持って協議す

べきだ。①基幹病院は一次医療をするか。②大和病院は二次医療ができるか。③健友館・ホームケア等の機能を残せるか。④中間施設・老人保健施設の併設を。⑤薬草園西の土地を取得しての計画を。

療が崩壊する。②一番の調整事項。グレードアップを考え協議する。③市内に2カ所検診施設を造る。現在の2倍の規模になる。④療養病床と老健施設の位置づけ必要。⑤配置等見極めて対応する。

**市長**

所のクラブが複数以上の学校が対象だ。児童の移動を考えると各小学校区単位に実施すべきだ。

一小学校一クラブが理想だ。市として進めたい。10人以上の希望者・場所・指導者の確保が必要。

**市長**

地域医療・予防医療の実践しやすい整備をする。①紹介型とし原則やらない。患者が集中し地域医

**岡村**

学童保育は、昨今の経済状況で働く親にとつて欠かせない事業だ。5カ

学童は各小学校で



大和医療福祉センター

# 総務文教委員会

○期日 1月29日

○調査内容

①塩沢地区給食センターと五十沢小学校の進捗状況（含 現地調査）

・塩沢小・中学校の給食設備の老朽化に伴い、塩沢の自校方式を生かせる給食調理室（センター）を塩沢中学校と廊下で接続して建設中。平成22年2学期から開始予定。建設事業費5億3千万円。1、300食まで可能です。

②天地人関連について

・五十沢小学校は危険校舎判定を受け、五十沢地区全体で五十沢小学校との統合の話し合いを進め、五十沢中学校に併設して校舎新築中。小中の連携をめざして準備を進めています。学校名は五十沢小学校。開校は平成23年4月1日。建設費9億7千万円です。

・天地人博

入場者数 43万1,105人。

大人団体 56・9%

大人一般 39・6%

小人 30・5%

・伝世館

入場者数 6万5,864人。

大人団体 27・7%

大人一般 67・4%  
小人 4・9%

・戦国EXPO

景勝、兼続公の生誕地でゲームソフト等の産業と連携し、戦国時代をモチーフとしたメディア博覧会を開催して観光誘客を図り、併せて市の自然景観、歴史文化、特産品をアピールし、全国に発信します。  
期間 4月11日～11月28日  
会場 天地人博跡地

他に次の事項を調査しました。  
・子ども・若者育成支援推進法について  
・総合計画について  
・予算編成について  
・税の収入状況について

天地人博の地域別入場割合

地域	一般	団体
北海道・東北	8.8%	6.6%
関東	34.7%	53.2%
新潟県	45.9%	13.3%
北陸	4.0%	8.4%
中部	4.2%	15.3%
近畿	1.8%	1.4%
中国・四国・九州	0.6%	1.8%

# 産業建設委員会

○期日 2月2日

○調査内容

①流雪溝について（含 現地調査）

六日町中心市街地は、昭和40年代から始まった消雪用地下水のくみ上げにより、一時は全国最悪クラスの地盤沈下を経験しました。これを受け、平成元年に始まった「スノーピア道路事業」への取り組みは、駅東地区で81%、駅西地区で35%の整備状況となっております。

最大の課題が駅西地区での水量の確保ですが、魚野川からの取水量をどう増やせるかが注目されます。

②農産物直売所と道の駅の現状について（含 現地調査）

旧塩沢町にある「今泉博物館」を観光交流拠点として整備し、再生を図ることとなりました。1億3千万円をかけ、川口の道の駅を想定した農産物直売所を新設しますが、今泉博物館本体を取り込めるかどうかについては、まだ問題も残ります。

博物館修理を含め、3億円が予定されていて、開業は平成25年度が予定です。生産者組織など、地域がいかに関わられるかが今後の課題です。

③コメの生産調整について

主食用のコメ消費が減り続ける中、国は平成22年度の生産調整分2万トンの内の約6割に上る分を新潟県に配分しました。この影響で、南魚沼市の配分も525・9トンと、過去最大の減産割り当てとなりました。「県間調整」に本腰で取り組みなど、従来並みの作付け面積確保が焦点です。

この他に、緊急貸付について、天人効果の詳細とこれからについての調査を行います。



今泉博物館



○期日 1月28日

○調査内容

①斎場について(含 現地調査)

思川に建設中の「斎場」は、平成21年度・22年度の継続事業で行っていますが、新斎場は2階建てで床面積では、現在の約4倍の1647㎡になります。また、ペトト火葬用の炉も設置され、今年秋の完成をめざします。

②焼却場解体工事について

昭和59年から平成16年まで稼働した旧ごみ焼却施設は地下部分の一部を残して解体撤去が完了しました。

③榊山最終処分場について

リサイクルセンターから出る不燃物の残渣のみを埋め立てる処分場は1号地を供用開始から11年を経ても使用していますが、2号地の埋め立て使用が地元と合意しましたので、1号地が満杯になり次第2号地へ移ります。

④保健行政について

・発達障害の支援について  
4月からの「若者育成支援推進

法」が施行に併せて、乳幼児期から就労まで一貫してできる相談窓口が必要と考え、その話し合いを始めました。

・児童虐待について

児童家庭相談は従来県の児童相談所で行ってきましたが、相談業務量の増や法改正もあり、現在は県と市が連携して相談に応じ、必要な支援を行うようになっていきます。市では、児童福祉士の有資格者を含め2名体制で行っていますが、年間20件前後の相談があります。

⑤病院事業の地方公営企業法全部適用について

4月1日から病院運営は地方公営企業法全部適用により運営します。この

ことによつて、医療情勢の変化への迅速、的確な対応と医師確保が期待されます。



斎場の建設現場調査

## 意見書を関係機関に提出しました

土地改良予算の確保に関する意見書

350万人のウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書

永住外国人に地方参政権を付与することに関する意見書

核兵器の廃絶と恒久平和実現に関する意見書

介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書

子ども手当の全額国庫負担を求める意見書



概要については19ページをご覧ください。

その他全会一致で可決した議案

(下の7議案は川口町の長岡市合併関連)

- ・新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について
- ・新潟県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について
- ・魚沼地区障害福祉組合を組織する地方公共団体の数の減少及び魚沼地区障害福祉組合規約の変更について
- ・魚沼地域特別養護老人ホーム組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について
- ・魚沼地域特別養護老人ホーム組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更に伴う財産処分について
- ・魚沼地域視聴覚教育協議会を組織する地方公共団体の数の減少及び魚沼地域視聴覚教育協議会規約の変更について
- ・魚沼地域胃集団検診協議会を組織する地方公共団体の数の減少及び魚沼地域胃集団検診協議会規約の変更について

- ・南魚沼市地区センター設置条例の一部改正について

(下の4議案は病院の公営企業法全部適用関連)

- ・南魚沼市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について
- ・南魚沼市立病院名誉院長条例の制定について
- ・南魚沼市病院事業管理者の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の制定について
- ・南魚沼市立病院等の使用料及び手数料条例の制定について
- ・南魚沼市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について
- ・南魚沼市福祉センター条例及び南魚沼市老人福祉センター条例の一部改正について
- ・南魚沼市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

(下の4議案は労基法改正関連)

- ・南魚沼市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- ・南魚沼市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- ・南魚沼市職員の給与に関する条例の一部改正について
- ・南魚沼市病院事業職員の給与の種類及び基準を定める条例の制定について
- ・南魚沼市公有林野等に関する条例の一部改正について
- ・権利放棄について
- ・字の変更について
- ・市道の認定について

【会派名称】  
 歩：歩む会  
 み：南魚みらいクラブ  
 政：市政クラブ  
 民：市民クラブ  
 か：かたくり  
 共：日本共産党議員団

	桑原圭美	林茂男	鈴木一雄	塩谷寿実	小澤実	黒滝松博	中沢一博	山田久勝	今井美晶	牧野晶	佐藤剛	寺口彦	関常幸	井上智明	樋口和人	関昭夫	腰越晃	阿部俊夫	阿部久夫	牛木芳雄	笠原喜一郎	中沢俊一	岩野松	岡村雅夫	若井達男	松原良道	
	歩	歩	歩	歩	み	み	み	政	政	歩	民	民	み	み	み	政	政	政	歩	民	か	か	共	共	み	み	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○																									

# 3月議会の全議決結果

表中の記号について

○=賛成 ×=反対 -=欠席

(※議長は議案裁決に加わりませんが、同数の場合は議長裁決となります。)

議員氏名	(議席順)
	会派
	採決結果

## ◎議案

和解について 1月の市内茗荷沢新田地内の停電により消雪用井戸ポンプ破損にかかる和解(東北電力276万円負担)		可決
平成21年度南魚沼市一般会計補正予算(第5号)(第6号) 1億2593万円増額補正し335億5309万円に		可決
平成21年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算(第4号) 60万7千円追加し総額61億5053万2千円に		可決
平成21年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算(第3号) 1億8268万2千円減額し47億9122万1千円に		可決
平成21年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号) 18万2千円追加し4億7506万6千円に		可決
平成21年度南魚沼市下水道特別会計補正予算(第3号) 2億1470万円減額し73億5950万円に		可決
平成21年度南魚沼市水道事業会計補正予算(第4号)		可決
平成21年度南魚沼市病院事業会計補正予算(第5号)		可決
平成22年度南魚沼市一般会計予算 (2ページ及び市報を参照下さい)		可決
平成22年度南魚沼市国民健康保険特別会計予算 (2ページ及び市報を参照下さい)		可決
平成22年度南魚沼市介護保険特別会計予算 (2ページ及び市報を参照下さい)		可決
平成22年度南魚沼市老人保健特別会計予算 (2ページ及び市報を参照下さい)		可決
平成22年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計予算 (2ページ及び市報を参照下さい)		可決
平成22年度南魚沼市下水道特別会計予算 (2ページ及び市報を参照下さい)		可決
平成22年度南魚沼市水道事業会計予算 (2ページ及び市報を参照下さい)		可決
平成22年度南魚沼市病院事業会計予算 (2ページ及び市報を参照下さい)		可決
南魚沼市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について 議員の政務調査費(活動費)を月額5000円を10000円に増額。		可決
南魚沼市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について 指定ごみ袋をリットル表示から号表示に変更します(在庫の従来のゴミ袋も使用できます)		可決
南魚沼市斎場条例の一部改正について 新しい斎場は9月から稼働します。		可決
南魚沼市地下水の採取に関する条例の一部改正について		可決
南魚沼市立浦佐保育園の指定管理者の指定について 指定管理者は医療法人社団萌気会に決定		可決
工事請負契約の締結について(光伝送路新設工事) 光ファイバーの架設工事はNTT東日本—新潟が行います。契約金額7億3290万円		可決

## ◎請願・陳情

「土地改良予算の確保に関する意見書」提出についての請願 (請願者:南魚沼土地改良区、大和郷土地改良区、五城土地改良区各理事長)(紹介議員:関常幸)	採択
消費税の増税計画に反対し、暮らしにかかる消費税減税を緊急に求める請願 (請願者:魚沼民主商工会 代表 佐藤寛)(紹介議員:岡村雅夫)	不採択
350万人のウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書採択の陳情 (陳情者:カルテのない薬害C型肝炎の全員救済を求める新潟の会 代表 久保紀子)	採択

## ◎議員発議案

土地改良予算の確保に関する意見書の提出について(提出者:牧野晶) 農業を発展、住みよい生活環境を持続し食糧基地新潟の応えるための土地改良予算確保を要望	可決
消費税の増税計画に反対し、暮らしにかかる消費税減税を緊急に求める意見書の提出について(提出者:岡村雅夫)	否決
350万人のウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書の提出について(提出者:今井久美) 肝炎対策基本法をもとに350万人のB型・C型肝炎患者救済に必要な法整備、予算化を進めること等を要望	可決
永住外国人に地方参政権を付与することに関する意見書の提出について(提出者:塩谷寿雄) 永住外国人に地方参政権を付与することは憲法上も疑義があり、付与には慎重な議論と地方の意見を聞くことを要望	可決
核兵器の廃絶と恒久平和実現に関する意見書の提出について(提出者:樋口和人)	可決
介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書の提出について(提出者:中沢一博)	可決
子ども手当の全額国庫負担を求める意見書の提出について(提出者:中沢一博)	可決

4月11日

# 戦国EXPOオープン

4月11日から、市役所本庁舎隣の「天地人博」が行われた会場で、「戦国エキスポ」が開催されています。

昨年はNHK大河ドラマ「天地人」が放映され、「天地人博」には43万人を越える観光客が訪れましたが、これをきっかけにアフター天地人事業を展開して、更に観光振興を図ろうとするものです。

この「戦国エキスポ」は、直江兼統と同時代に生きた戦国武将の生きざまを映像、漫画、フィギュア甲冑等で展示、紹介しています。

期間は11月28日まで開催しています。

期間は11月28日まで開催しています。

## EXPO



「戦国エキスポ」展示物の一部



営業時間 9時～17時30分  
入場料金 大人 500円  
小人 250円

## 議会のしくみ

### ◎請願・陳情

市民の要望や意見を国・県や市に伝える方法の一つで、請願をしようとする人は議員の紹介により請願書を提出することができます。



請願書が提出されると議長はこれを受理し所定の委員会に付託します。委員会では慎重に審査します。



委員会での結論は本会議で報告され、採択、不採択など最終的な結論が出されます。この結果は提出者に通知をし報告します。



陳情は議員の紹介を必要としない他は請願とほぼ同様の取扱いですが、方式や処理手続きが請願と違い法律に規定されていません。



請願書・陳情書については、いつでも議会事務局で受付をしています。各定例会の議会運営委員会開催日の3日前までに提出されたものは、その会期中に審査されます。

## 編集後記

案がすべて可決されました。

天地人博の後を受け、4月11日より「戦国EXPO」が開催されています。市民の皆様はもとより、昨年来訪された県内外の方にもまた足を運んで頂きたいものです。

4月初旬より市の北側に位置する八色原の一角「水の郷工業団地（魚沼市）」に新しい工場が建設中です。八色原の景色が国道17号浦佐バイパス、数年後の魚沼基幹病院の建設で更に変わります。

春になり新しい色々な種（農工商問わず）をまき、その種が一年かけ南魚沼市に大きく結果してもらいたいと思っています。

編集委員 小澤 実

## 6月議会 予告

6月8日(火)より18日(金) (予定)  
…詳細は議会事務局へ  
(☎773-6650)

### 議会広報編集特別委員

委員長	佐藤 剛
副委員長	小澤 実
委員	桑原 圭
委員	林 茂
委員	黒滝 松
委員	腰越 俊
委員	中野 晃
委員	岩野 松